宮崎まちづくり活動団体情報

2021年8月

宮崎まちづくり協議会 電話:0564-83-2034 発行責任者:梅村順-携帯: 090-3259-4091

編集発行:

 $_{\text{VOL}}$



【歴史文化部会】

歴史文化探訪委員会(委員長 清水 力さん)

〇雨山城址石柱除幕式並びに安全祈願祭を開催

令和3年6月6日(日)午後2時より、雨山ダム左岸広場において委員会メンバーが集まり、来賓をお迎えして雨山城跡石柱除幕 式が開催されました。祭式の会場からは、遠く雨山城址を望むことができます。合図とともに石柱の除幕が遠隔操作のように行われ ました。厳かに祭式が行われ、整備事業の貢献をいただいた「愛知中世城郭研究会」の奥田敏春様と石川浩治様に感謝状を贈呈しま した。(この賞状は、清水委員長自筆のものです) 式典終了後には、全員で雨山城址を視察しました。登山口には、手作りの木製案 内板と御影石の案内が鎮座しており、雨山城址の幟が作成され彩を添えています。林道終点からは、作業道がつくられ一行は息を切 らすことなく雨山城址に到着しました。立派な石碑が建立され、雨山集落が一望できる素敵な空間となりました。心地よい風が吹く 頂上を、少し北へ下ったあたりに平らな場所があります。不思議と風がなく、古の狼煙場であることが伺えます。記念撮影を終え晴 れ晴れとした気持ちで下山しました。皆さんも雨山城址をご見学ください。

(追伸:毎月第2火曜日の午後7時から市民ホームで会合しています。皆さんの参加をお待ちしております。)













【コメントをいただきました】

雨山城址除幕式に参加して(岡崎市教育委員会社会教育課 学芸員 山口遥介様)

この度、雨山城址石碑が完成し披露されましたこと、誠におめでとうございます。岡崎市には県内有数の中世城郭が存在します。中世城郭といっても岡崎城のように近世まで存続する大規模なものから、一時期の小規模な砦も含まれます。雨山城跡は後者の類であり、痕跡の少なさからこれまで城跡の特定が困難とされてきました。しかし、地元の皆様方の御努力により狼煙台跡が発見され、雨山城跡の有力地を特定されたことは大きな成果であるといえます。整備された雨山城跡に立ち雨山合戦地を望むと、こうした小規模な砦も立派な中世城郭の一つであることを強く意識させられ、土塁や堀で区画された城郭のみが中世城郭の全てではないことを教えてくれます。雨山城跡が整備されたことで地元の皆様により一層愛着を持って管理・活用され、多くの歴史ファンが城跡を訪れることを祈念いたします。



【くらがり活性化部会】

くらがり活性化実行委員会(委員長 加山 茂さん)

〇くらがり八景

「昔と変わっとらん」「久し振りに来たら・・」「近すぎて行ったこと無い」そんな方に『くらがり八景』をご案内します。第一駐車場入り口の総合案内所には、ふるさと額田を愛する鈴木勝男氏の写真が飾られています。「くらがり渓谷パンフレット」は、第八景まぼろしの滝は謎であり、第四景 猿神の鬼押し出しも勝男氏の写真とは異なります。

くらがり渓谷は、四季折々に趣があり、春は新緑、夏は立木に覆われ、川瀬、せせらぎからの涼感、秋は紅葉、黄葉、冬は産地用までの景色の変化が楽しめます。くらがりを訪れた方により理解していただける様「くらがり八景」を案内しています。また自然を題材として、くらがり渓谷短歌会、俳句会等も開かれています。この八景には、詠まれた詩が刻まれた石碑があり景色が思い浮かびます。訪れた方やSNS投稿では、くらがりの滝が人気です。八景には「不動の滝」「まぼろしの滝」のふたつがあり、場所や水量に大きな違いがあります。これらの説明を順にしていきますので、次回までに一度下見をしてみてはいかがでしょうか。



【お知らせ情報】

宮崎まちづくり協議会お助け隊草刈り作業を実施

○行政区域を超えた草刈り支援隊

令和3年7月4日(日)に予定していた草刈作業は、集中豪雨による土砂災害発生により延期されました。その後関係各所との調整の結果、7月11日(日)に実施することができました。午前8時大代町の三差路に集合し、お助け隊長である加藤総代会長より安全作業の指示を受け作業に取り掛かりました。千両町方面隊は、萩町を通り現地へ向かい崩落現場を避け草刈りを実施。萩町方面隊は、萩坂の峠より下り側から作業を始めました。大量の草が生い茂り、草刈り作業と共に刈草の搬出に手間取り午後5時まで作業を実施しました。協議会が運営主体となり隣接市町村の県道沿いの草を刈ることができ、通勤・通学の際、通行に支障がないように草刈りが実施できました。ご協力をいただいた皆さんに心より感謝申し上げます。











